

## 【開校記念日・周年行事】での活用事例 (小学校第2学年)

### 【活用した資料】

- 小学校版「心あかるく」 p.110～p.111 第三章 「⑮ 学校 楽しいな」

### 【学習指導要領に示されている道徳の内容】

- 4-（4）「先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくする。」

### ○ 学校の歩んできた年月と先輩達の存在を知る。

開校記念日・周年行事を迎えるに当たって、自分と学校や学級集団との関わりに気付かせ、自分の所属する学校を大切に思う気持ちを育てる機会としました。このような指導は、児童が成長し、次第に大きな集団に所属するようになって、集団や社会の一員としてよりよく生きていくための基盤をつくっていくことにつながります。

低学年の児童は「学校のお誕生日」「今年で〇歳」というお祝いは、よく理解できます。そこで、学校の歴史は、子供と先生・保護者・学校を支えてくれる地域の皆さんの歴史であることを伝えました。「〇歳になった〇〇小学校をさらにいい学校にするために、自分たちにできることは何だろうか。」と考えさせてから、『心あかるく』p.110～p.111「⑮ 学校 楽しいな」を活用しました。

### ○ 書き込み欄を活用する。

『心あかるく』p.111の書き込み欄を活用し、よりよい学校・学級をつくっていくために自分たちにできることについて話し合わせました。2年生は学級をよくすることと学校をよくすることとの関係を捉えにくいので、『心あかるく』を開く前に上で述べたような指導を行い、自分たちの実践とよりよい学校とのつながりを意識できるようにしました。

書き込み欄には、「くつ箱をきれいにしておけば、お客さんも気持ちいいし、いい学校だなんて思ってくれる。」「ていねいにそうじをすると、自分たちもお客さんも気持ちがいい。」「一生懸命に勉強する。」「友達と仲良くすると楽しいし、いじわるをしないいいクラスになるし、いい学校にもなる。」など、よりよい学校にするために一生懸命に考えて記入していました。

開校記念日前の指導は、どの学校でも行うものですが、何周年かによって、指導にかかる時間も違って来るので、学校の実態に合わせて活用します。ここで紹介した指導事例は朝の会で行ったものですが、大きな周年行事に取り組む学校では学級活動の時間に、周年の記念誌などと併せて活用することもできます。